

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和4年8月23日（火）
- 2 確認箇所
瓦礫類一時保管エリア○（オー）
- 3 確認項目
瓦礫類一時保管エリア○（オー）の状況

4 確認結果の概要

廃炉作業に伴って発生した放射性瓦礫などを保管している瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）では、昨年、放射性物質を含有する水がエリア外に漏れいする事象が複数回発生しており、東京電力では監視やシート養生などの対策を強化している。

今回は一時保管エリア○の状況を確認した。（図1）（前回確認：[平成29年10月30日](#)）

- ・現場は産業廃棄物の最終処分場として使われている場所であり、産業廃棄物を埋め立てた上部をフェーシング（アスファルト舗装、モルタル吹き付け）し、震災後に発生した瓦礫類を一時的に保管している。
- ・現場には1m³コンテナが1段～5段積みで多数保管されており、ほとんどのコンテナには緑色のネットがかけられていた。（写真1）（写真2）
- ・委託業者の作業員が3名で監視業務を行っていた。
- ・一部のコンテナには錆がみられたが、コンテナの著しい破損や転倒、内容物の露出などは見られなかった。（写真3）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
一時保管エリア〇全体の状況（北東
から撮影）



(写真2)
一時保管エリア〇全体の状況（北西
から撮影）



(写真3)
コンテナの状況（南東から撮影）

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。